

モナリザタッチ® 治療説明・同意書

モナリザタッチ®とは、閉経に向け女性ホルモンが減少するために起こる腔萎縮をレーザーにより改善する施術です。腔萎縮により起こる、かゆみ、ニオイ、乾燥、性交痛、膣のゆるみ、排尿障害などの様々な不定愁訴を改善するために開発されたメソッドで、顔のリフトアップやたるみ改善に使われた炭酸ガスフラクショナルレーザーによるリジュビネーションの技術を女性器（膣）に応用した施術です。外陰部に照射する事で、外陰部のしわ、たるみの改善も期待できます。

【適 応】

腔萎縮による不快症状（乾燥、かゆみ、灼熱感、痛み、におい、ゆるみ、性交痛、尿もれなど）のある方
乳がん既往で腔萎縮症状があるが、ホルモン療法ができない若年層の方、
腔環境の改善を望まれる方
外陰部のしわ、たるみが気になる方

項目	モナリザタッチ	外陰部リジュビネーション
施術の流れ	① 問診、カウンセリング、内診を行います。 ② 外陰部に麻酔クリームを塗布し、15～20分ラップで覆い、浸透させます。 ③ 院内でしばらくお待ちください。 ④ 施術室（内診台）に移動します。 ⑤ 麻酔クリームを拭き取り、施術を開始します。	⑥ 腔内に専用プローブを挿入し、レーザーを照射します（約30秒～1分程度で、痛みはありません） ⑦ プローブを変えて、外陰部にレーザーを照射します（約3～5分程度。症状に合わせて照射します。人によってチクチク感や熱さを感じる方もいますが、辛くて我慢できないような痛みはありません） ⑧ レーザー照射後、薬剤を塗布し冷却します。
施術効果	膣のかゆみやニオイ、乾燥、性交痛、ゆるみなどの改善が期待できます。また、海外では尿失禁などの排尿障害の改善も報告されています。	外陰部にハリがでて、しわ、たるみの改善が期待できます。
リスクと副反応	施術直後、熱感を感じる場合があります。まれに照射後に、軽微な痛みや出血を生じる場合もありますが、通常は数日で自然に治まります。	照射直後、日焼けをした感じのほてり感、ヒリヒリ感、腫れが生じますが、2～3時間ほどで落ち着きます。
術後経過と施術後の注意	施術後3日間は、性交渉を避けてください。 公衆浴場などでの入浴は避けてください。 当日からシャワー浴は可、入浴は翌日からとしてください。石鹸はつけても構いません。 照射後数時間は、保冷剤で冷やすと楽になります。 初回の排尿時に膀胱炎のような痛みを感じる場合がありますが、徐々に軽快します。	レーザー照射後、外陰部にかさぶたができますが、数日ではがれます。個人差はありますが、多少のかゆみを感じる場合もあります。無理に擦ったり、きつい下着で圧迫しないように注意してください。 施術後3日間程度は、外陰部を清潔に保ち、お渡しした軟膏を塗布、保湿を十分に行ってください。

【施術を受けられない方】

- ・淋菌やクラミジア等の性行為感染症やカンジダ膣炎、性器ヘルペスにかかっている方
- ・外陰部のかぶれや、膣炎のある方
- ・外陰部または子宮頸部に腫瘍のある方
- ・骨盤臓器脱の方
- ・月経中の方、妊娠中や授乳中の方
- ・抗凝血薬、レチノイド、アキュテインなどを服用している方、光増感剤を服用している方

同 意 書

私は、この施術について十分な説明を受け、内容を理解いたしましたので、本施術を受けることに同意します。

同意日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

署 名： _____